もし、大規模地震が発生したら…

地震の規模によっては、断水したり、下水道が使えなくなる可能性があります。上下水道局では、地震の発生から28日以内に上下水道の応急復旧を完了させることを目標に、迅速な応急給水と応急復旧を進めていきます。

まずは身の安全の確保を！

地震発生 → 1日目 → 4日目 → 22日目 → 28日目

本復旧作業は28日目以降も継続

水道

応急給水所の設置

発災後 1日～3日

水道施設が被害を受けて断水した場合、お客さまに飲料水をお配りする応急給水所を、支所・コミュニティセンターなどに設置します。

Q 応急給水所を設置するまでどのくらいかかるの？

A

地震発生から3日程度かかる可能性があります。大規模な地震の場合、発生直後は応急給水に必要な人員や給水車の確保が難しいほか、医療機関への給水を優先する必要があるため、他の水道事業者や関係機関の応援を受けて応急給水所を設置することになります。

配水管への仮設給水栓の設置

発災後 4日～21日

配水管の応急復旧に合わせて、応急給水所以外でも給水を受けられる場所を増やしていきます。

Q 自宅の近くでも給水を受けられるようになるの？

A

はい。主要な配水管を優先して応急復旧を進め、通水を再開した配水管では、消火栓などを利用して仮設給水栓を設置します。給水を受けられる場所を増やすことで、お客さまの負担を少なくしていきます。

配水管の断水解消

発災後 22日～28日

配水管が応急復旧した地域から、水道水の供給を再開します。この際、宅地内の配管が破損している場合は、メーターボックス付近に仮設給水栓を設置して、各家庭で水道水を使うことができる状態にします。

下水道

下水のあふれや詰まりの解消

発災後 1日～3日

地上にあふれた下水の排出や下水道の詰まりの除去作業を行います。

仮設下水道管・仮設ポンプの設置

発災後 4日～28日

破損した下水道管の代わりに仮設の下水道管やポンプを設置して、下水が流れる状態にします。

Q もともとの下水道管を直すだけでなく、仮設の下水道管を設置するのはなぜ？

A

下水道管は、下水が自然流下で流れるように勾配をつけて設置しています。そのため、修繕する前に管のズレや傾き等を十分調査する必要があり、水道管に比べて復旧まで長い時間がかかります。その間、応急的に下水道機能を回復させるために、仮設下水道管などを設置することになります。

2011.3.14　宮城県岩沼市での応援給水の様子

ご家庭でできる水の備え！

1人1日3リットル、3日分の水を備蓄しよう！

地震によって広範囲で断水すると、応急給水を開始するまでに3日程度かかることが予想されます。ご家庭でも飲料水の備蓄をお願いします。水の備蓄は水道水でも手軽に行うことができます。

水道水の備蓄方法

① ふたができる清潔な容器に、口いっぱいまで水を注ぐ。

② そのまま直射日光の当たらない冷暗所で保管。

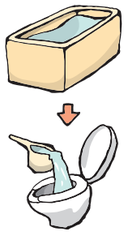
③ 3日経つと消毒効果が薄れるため、中身を交換。使わなかった分は花の水やりなどに。

防災グッズを活用して水を節約しよう！

ウェットティッシュや水のいらないシャンプー、紙皿・紙コップ等を利用することによって、水を節約することができます。

お風呂の残り湯を貯めておこう！

いざという時に洗濯やトイレなどの雑用水として利用できます。



簡易トイレがあると便利！

災害時は、断水や下水道の詰まりから、水洗トイレが使用できなくなることがあります。上下水道が復旧するまでは簡易トイレ等を利用し、使用後はごみとして処理しましょう。簡易トイレはご家庭にあるもので作ることもできます。

簡易トイレの作り方

① トイレの便座に2重にしたビニール袋をかぶせる。

② 細かくちぎった新聞紙をビニール袋の中に敷き詰める。

③ 使用後は口を縛り、ごみとして処理。

便座の代わりに段ボール箱でも代用できるよ

近くの応急給水所の場所を確認しておこう！

通常給水が復旧するまでの間、飲料水の供給は応急給水所が中心になります。いざという時でも冷静な行動ができるように、お近くの応急給水所を確認しておきましょう。

応急給水所一覧

支所	塩江・庵治・香川・香南・牟礼
公園	朝日町・亀岡・中央・伏石中央・松島 東部運動公園・上之町北・ハゼ西
学校	木太南小学校・国分寺南部小学校・国分寺北部幼稚園
コミュニティセンター	一宮・太田・太田南・木太北部・木太南・鬼無 香西・下笠居・十河・弦打・林・三谷・仏生山 前田・松島・屋島・屋島東
その他	高松市南消防署・国分寺会館 地域包括支援センター古高松

応急給水用の容器もご準備を！

応急給水所や給水車で給水を受ける場合、水を入れる容器が必要になります。ポリタンクやバケツなどの容器も防災グッズと併せてご準備ください。

ダンボールでもできる水タンク

① 段ボール箱等に2重にしたビニール袋をかぶせる。

② 水を入れて口を結ぶ。

③ 台車があると運びやすくなります。

水は1リットルで1kgの重量があり、その運搬は年配の方やお子さまには大変な作業です。地域の皆さまのご協力をお願いします。

応急給水所は、各家庭に配布している防災マップや市のホームページから確認することができます。

http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/takamatsubosai/index.html

※防災マップに関する内容は危機管理課までお問い合わせください。　TEL 839-2184

～東日本大震災の応援給水～

高松市上下水道局
局次長　森本　啓三

震災から3日後の2011年3月14日、宮城県岩沼市に到着しました。震災直後は給水車等の手配ができず、どこの給水所でも3時間待ちの状態で、現場では500人を超える行列ができていました。

非常用の飲料水もなく、給水用の容器の代わりにペットボトルややかん、魔法瓶などを持ち寄る方が多く見られ、日頃の備えや応急給水訓練の重要性を痛感しました。

～宮城県東松島市より～

宮城県東松島市
下水道課　美濃　吉広
（高松市より派遣中）

東松島市では地震や津波により下水道管の破損や土砂の流入等の被害がありましたが、下水道の復旧工事については、平成26年度末までの4年間で完了する見込みとなりました。震災直後は、施設が被災したことで処理場に下水を流せなくなり、路上にあふれる可能性がありましたが、緊急措置を行うとともに、市民の皆さまに下水道の使用を控える等のご協力をいただいたことで回避することができたと伺っています。